

ちむ美らさ

第52号

発行: 北部農林水産振興センター
農業改良普及課
沖縄県名護市大南1-13-11
電話: 0980-52-2752
FAX: 0980-51-1013

普及だよりの活用を



北部農業改良普及課では、平成24年度に14人の職員の異動があり、所内の顔ぶれも大きく変わりましたが、今年度も農業経営の確立と地域農業の振興に向け、農家及び関係機関の皆様と連携を密にして取り組む所存です。今年度も普及事業へのご協力よろしくお願ひ致します。

昨年度は、東日本大震災に伴う彼岸用キクの大暴落や、5月・8月の二度の台風襲来により、さとうきび、柑橘等の果樹類、葉タバコ、野菜類等全ての農作物が多大な被害を受けるなど、生産農家の皆様にとっては前年度に引き続き厳しい一年であったと思います。

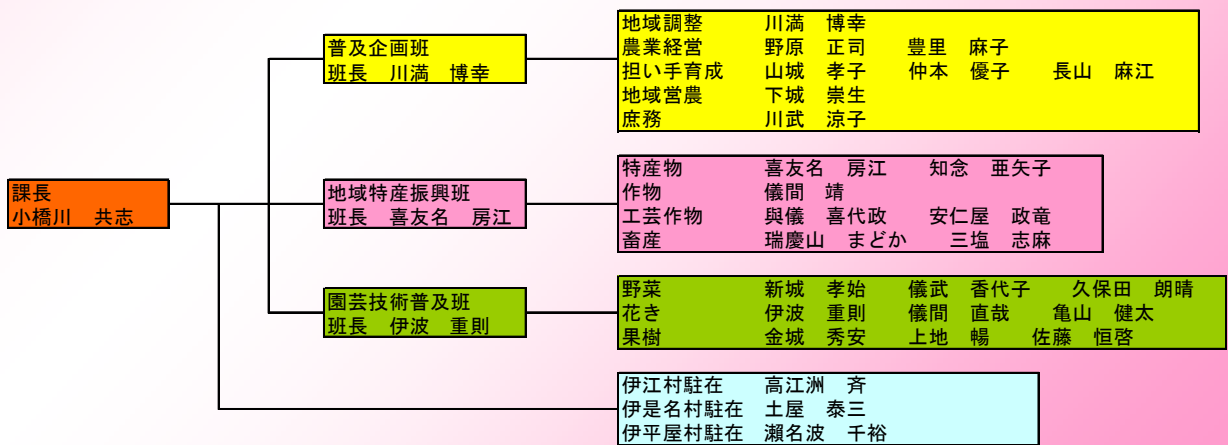
今年度は、しっかりとした経営計画の下、土づくりや栽培管理等を徹底して行い、昨年の減収、減益分を確実に取り返す年にしたいものです。

農業改良普及課では、厳しい経営状況にある農家の皆様への支援を強化すべく、今年度は迅速な情報提供を図り、気象災害等への対応や適期の栽培管理、病害虫の適期防除、新技術の導入等による農業経営の安定・向上を推進する計画です。

その為、普段の巡回指導や講習会等における情報提供の強化を図ると共に普及だよりやホームページの充実等に努め、より多くの皆様へ適時・適確で迅速な情報提供を行います。

この普及だよりを多くの農家の皆様に活用して頂くことで、栽培技術や農業経営の向上が図られることを期待しています。
(課長 小橋川 共志)

北部農林水産振興センター農業改良普及課体制(平成24年度)



茶園の土づくり

今年もおいしい新茶が出回り、夏まで二番茶以降の収穫が続きます。葉の収穫と剪定がくりかえされることから樹勢を維持するため、**土壌分析を基にした夏以降の土づくりが大切です。**

一番茶は千～二千元/kg(荒茶:県外)、二番茶以降千円以下/kg(主に県内)と価格の違いがあり、生産量の確保も重要です。

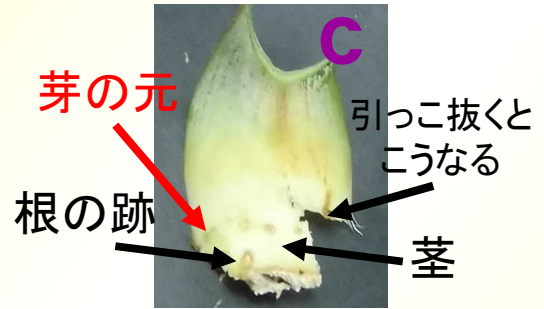
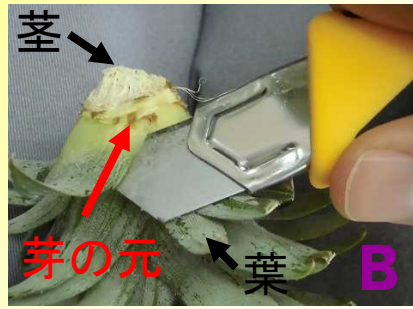


昨年の土壌分析で、茶園のpHは平均4.4で、基準のpH5以下が8割ありました。pH4を下回る園では酸度矯正が必要です。

土壌分析を基にして、8月下旬～9月に炭カルや苦土石灰などを、通路に30～50kg/通路、(90～150kg/10a)程度混合しましょう。

施用でアルカリ化に傾きやすいため少量から初めましょう。

パインの葉挿し増殖



①『芽の元』は図Aの位置(※葉の重なり部分にあり、1枚の葉に1個ある)なので、写真Bの位置にカッターの刃を入れて、鉛筆を削るように切り出し、その後手で引っこ抜く。(※カッターを使わずに葉を手で引っこ抜くと、『芽の元』は茎に残ってしまう)

(※芽の元は少し膨みがあるだけなので見えにくい。見えなくても②以降に進む。茎内部の丸い模様は『根の跡』なので無視する)

(※茎部分も葉と共に栄養源となるので、芽の元とつながっていることが望ましい※写真C = 葉片)

②葉片は③までは水に浸しておく。



③育苗箱に培地(※バーミキュライトやピートモスがよい)を敷く。培地に指で溝を入れて、葉片を乗せ、軽く培地を被せる。(※写真D)(※土だと水分変化が激しいので根付かない)

※3月～9月の暖かい時期が良い。(※真夏は暑すぎるのでできれば遮光する)



出た芽

④水やりは、根が出るまでは可能であれば毎日。霧吹きを使うと葉片が動かなくて良い。

⑤約1ヶ月で芽の元から小さい芽と根が出てくる。(※写真E)

⑥翌年春、畑に仮植しても良い。そして秋には本畑に定植できる。



あなたの畑、健康診断してみませんか！ ～ 土壌検診週間のお知らせ～

土は作物栽培に大切です。連作や肥料の多用で、土の成分は偏っているかもしれません。土壌検診は、いわば「土の健康診断」。定期的に土壌分析を受けることで、適正な作物栽培に活用しましょう。

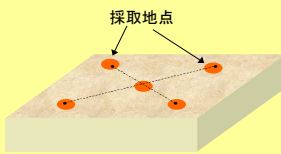
受付〆切: 6月29日(金) (※土は乾燥・粉碎・ふるいまで)

○希望される方は、農業改良普及課または最寄りのJA・市町村までお問い合わせください。(普及課担当: 與儀、亀山)

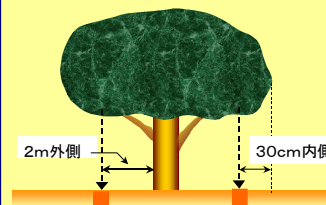


1. 土壌を採取する場所について

対角線上に圃場5カ所から採取します

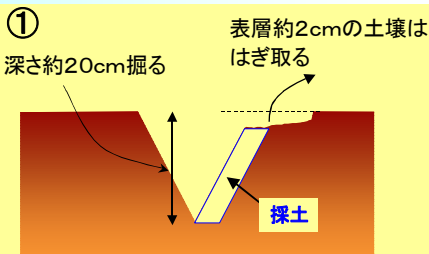


枝の先端から30cm内側の土壌を採取します。或いは樹幹から2m外側の土壌を採取します。



○左の図のように、対角線上に五カ所の地点を選び、その地点から土壌を採取し、混合して代表土壌とします。
○果樹園の場合は、代表的な樹を5本選び、枝の先端から30cm内側の土壌を採取するか、或いは樹幹から2m外側の土壌を採取します。
土壌に堆肥、化成肥料、作物残渣が混ざらない様に注意します。

2. 土壌採取方法



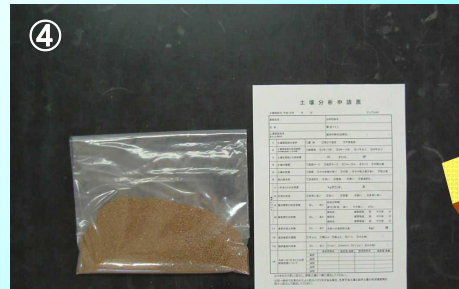
表層を1～2cm(果樹は5cm)、はぎ取ってから、深さ約20cmV字型に掘ります。それから穴の斜面に沿って、一定の厚さを掘り取ります。



土を乾燥させる際は、採取土壌を細かくほぐし、新聞紙を数枚重ねその上に土を広げます。直射日光は避け、室内で約1週間乾燥を行います。



ビンなどで転がし、土壌を細かくします。その時、小石や根などを取り除いて粉碎しましょう。土壌粒子が約2mm以下になるまで粉碎しましょう！



2mm以下に粉碎したら、土壌約300g(お茶碗1杯程度)をポリビニールに入れ、申請書を添付して提出してください。また袋にも名前、畑名を記入してください。

提出